

第4のレフリーおよび予備の補助レフリー (実機競技のみ)

- 第4の審判員は、競技規則に基づき任命され、3名の大会関係者のいずれかが継続できなくなった場合、予備のアシスタントレフリーが任命されない限り、審判を行うことができる。アシスタントレフリーは、常にレフリーを補佐する。
- 競技会開始前に、主催者は、レフリーが続行不可能になった場合、第4のレフリー員が次のことを行うかどうかを明記しておく。
- レフリーの要求に応じて、試合前、試合中、試合後のあらゆる管理業務を補助する。
- 試合中の交代手続きをサポートする責任がある
- また、交替要員がフィールドオブプレーに入る前に、交替要員の用具を点検する権限を有する。その用具が競技規則に適合しない場合、レフリーに知らせる。
- ボールの交換が必要な場合、その監督をする。試合中に試合球の交換が必要な場合、レフリーの指示により、別のボールを提供し、遅れを最小限にとどめる。
- 競技規則に従って試合をコントロールするレフリーを補佐する。ただし、プレーに関連するすべての点の決定権はレフリーにある。
- 試合終了後、第4審判員は、レフリーおよびアシスタントレフリーの目の届かない所で発生した不行跡やその他の出来事について、関係当局に報告しなければならない。第4審判員は、レフリーとそのアシスタントに、報告書が作成されたことを告げなければならない。
- テクニカルエリアの居住者の無責任な行動についてレフリーに報告する権限を有する。
- 競技規則に基づき、控えアシスタントレフリーが任命されることがある。その任務は、競技を続けることができなくなったアシスタントレフリーの代わりを務めること、または、必要に応じて第4審判員の代わりを務めることだけである。